

お 客 様 へ

蓄電システム × EV パワー・ステーションのご利用について

このたびは蓄電システム「ESS-U5 シリーズ」とニチコン製 EV パワー・ステーションをご導入いただき誠にありがとうございます。ここでは各機器を併設した際の基本的なご利用方法についてご案内いたします。

1. 蓄電システムと EV パワー・ステーションの組み合わせについて

- 蓄電システム「ESS-U5 シリーズ」と EV パワー・ステーション「VSG3-666CN7」もしくは「VCG-666CN7」を併設(以降「独立併設」と表記)する場合は、独立併設可能な配線が必要です。
詳しくはお買い上げの販売会社にお問合せください。

2. 通常時の使い方 (☞詳しくは各機器の取扱説明書を参照してください)

- 蓄電システム および EV パワー・ステーションは、それぞれ独立して動作します。(両機器を連携させて一括制御する動作はできません。)

例: 蓄電システムの運転モードが「グリーンモード」・EV パワー・ステーションが「グリーンモード」の場合

太陽光発電電力を家庭内負荷に供給し、太陽光発電電力に余剰がある場合は[①蓄電池ユニット→②車両]の順に充電を行います。太陽光発電電力が不足している場合や発電電力がない場合は[①蓄電池ユニット→②車両]の順に放電を行います。蓄電池ユニットや車両から放電しても不足する場合は、電力会社から買電して家庭内負荷に供給します。

3. 停電時の使い方 (☞詳しくは各機器の取扱説明書を参照してください)

- 停電時に EV パワー・ステーションが自立運転を開始している場合、蓄電システムは停電(系統からの電源が途切れたこと)を検知しないため、通常時と同じ動作を行います。
- EV パワー・ステーション(自立運転)と蓄電システム(通常時の動作)が共に動作している状態で太陽光発電電力に余剰がある場合は、[①蓄電池ユニット→②車両]の順に充電を行います。蓄電池残量が 100%になると、車両への充電に切り替わります。太陽光発電電力が不足している場合、蓄電池ユニットからの放電を優先して行います。蓄電池残量が蓄電池放電下限値に達すると、車両から放電を行い、家庭内負荷に供給します。
- EV パワー・ステーションが車両未接続(コネクタ未ロック)や停止中の場合、下流の蓄電システムが自立運転を開始します。その後、車両が接続されて EV パワー・ステーションが自立運転を開始すると、蓄電システムは自動的に通常時の運転モードへ切り替わります。この切り替え時、蓄電システムは最大 5 分間停止状態となりますが、その間は EV パワー・ステーションが自立運転を行い、家庭内負荷に供給します。
- EV パワー・ステーションと蓄電システムが共に動作している状態で、停電時に以下(a)(b)いずれかの場合、EV パワー・ステーションが自動停止することがあります。
(a)蓄電システムが手動運転モード(「蓄電池充電」)で運転している(動作中に停電した場合を含む)。
(b)蓄電システムの自動運転モード(「グリーンモード」または「売電モード」)の充電時間帯と停電期間が重複している。
EV パワー・ステーションが停止した場合、蓄電システムは自動的に自立運転に切り替わります(前述参照)。
上記(a)(b)の状況が全て解消された後、EV パワー・ステーションの自立運転を再度開始するには「12V 電源ケーブル」による操作が必要です。

4. 復電時の操作

- 停電後復電した場合、蓄電システム、EV パワー・ステーション共に特別な操作はありません。
- 復電後、電力会社との協議で定められた時間内(最大 5 分)は買電して家庭内負荷に供給しますが、蓄電システムと EV パワー・ステーションは停止状態となります。その後、通常時の運転モードでそれぞれ独立して動作します。

5. アフターサービスについて

- 蓄電システム および EV パワー・ステーションに関するご不明点は、お買い上げの販売会社にお問合せください。

蓄電システム「ESS-U5 シリーズ」と EV パワー・ステーションを独立併設にてご利用の際は、各機器の取扱説明書を併せてご確認ください。
この「お知らせ」は、各機器の取扱説明書とともに大切に保管してください。